

「いつでも・どこでも・楽しく・安全に」
スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指して

斜里町体育施設等検討書

平成30年3月

斜里町体育施設等検討町民懇談会

目次

I. はじめに

- 1 懇談会の目的 1
- 2 検討の進め方 1

II. 課題と方向性の提起

- 1 課題提起 2
- 2 斜里町公共施設等総合管理計画での体育施設（方向性の提起） 3

III. 検討結果

第1章 既存施設

- 1 B&G海洋センター体育館 4
- 2 B&G海洋センタープール 5
- 3 斜里町武道館 6
- 4 町営野球場 7
- 5 町営陸上競技場 8
- 6 テニスコート 9
- 7 パークゴルフ場（町民公園・シーサイド） 10
- 8 ウトロスキー場 11
- 9 ウトロパークゴルフ場 12
- 10 ウトロ地域水泳プール 13
- 11 町営スケートリンク 14
- 12 ウナベツスキーハウス 15
- 13 学校開放体育館 16

第2章 検討結果比較

- 1 既存施設検討結果及び公共施設等総合管理計画との比較一覧表 17

第3章 総合型地域スポーツクラブ

- 1 総合型地域スポーツクラブとは 19
- 2 総合型地域スポーツクラブ設置の現状と課題 20
- 3 今後の方向性 22

第4章 課題に対する意見

- 1 町からの課題提起に対する懇談会からの意見 23
- 2 まとめ 24

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 目 次 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

IV. 検討経過

1 会議日程及び内容	25
2 懇談会委員	26

【参考資料】

- ・ 資料1 「斜里町体育施設等の検討について～現状の課題と今後の方向性～」
- ・ 資料2 「体育施設に関する利用団体アンケート調査結果一覧表」

I. はじめに

1 懇談会の目的

- 斜里町の体育施設全体の利用者は、平成 28 年度実績で約 7 万 5 千人であり、「公民館ゆめホール知床」の年間利用者数 8 万人と同等となっている。

このように多くの利用者がある中で、斜里町では、第 6 次総合計画の教育分野基本目標である「心豊かにつながり学び合うまちをめざす」の政策の一つに「地域を育む社会教育活動の推進」を掲げ、その中の基本施策「健康づくりとスポーツ活動の推進」を実現するため、単位施策である「施設設備の整備と維持」の推進を図るべく、「体育協会や各単位協会と連携・協力して体育施設に関する情報収集を行い、老朽化した体育施設の計画的な整備・維持に努める」という方針に基づき、「斜里町体育施設等検討町民懇談会」（以下「懇談会」という）を設置しました。また、体育施設の整備と斜里町のスポーツ事業の推進とは密接な関係にあるため、これらを総合的に検討することとしました。

上記の検討結果を踏まえ、平成 30 年度に予定している、①第 6 次斜里町総合計画中間見直し、②第 5 次生涯学習計画策定、③第 2 次スポーツ推進計画策定及び、④斜里町公共施設等総合管理計画の実施計画策定に関しての基礎的な参考意見として反映するものとします。

2 検討の進め方

- 当懇談会では、斜里町からの課題提起と「斜里町公共施設等管理計画」で示されている方向性（※次頁以降参照）を基に、まず、町が設置している体育施設をそれぞれ一つずつ（関連があるものについては合わせて）、すべて検討していくこととし、最初に現状を把握することで課題の洗い出しを行い、解決に向けての方策を協議しました。

具体的には、本来あるべき姿としての「理想的な対応策」と町の厳しい財政状況を考慮した「現実的な対応策」について、それぞれ協議することにより、活発な議論が進められ、柔軟で幅広い意見集約がされており、今後の財政状況の変化にも対応できる内容としています。また、懇談会委員の専門分野ではない体育施設の現状については、委員以外の町民に本会議に参加してもらい直接意見聴取したほか、すべての利用団体にアンケート調査を実施することで現状を把握し、より実態に則した検討結果になるよう努めました。

次に、現状では整備されていない施設で、今後、斜里町に必要な施設について検討したほか、スポーツ合宿誘致や他町と連携した広域的な施設利用の視点からも検討を行いました。

最後に、総合型地域スポーツクラブの設置など、今後のスポーツ振興施策についての検討を行いました。

II. 課題と方向性の提起

1 課題提起

<体育施設等の課題>

○ 斜里町から、現状の体育施設等に関する課題を次の4つに区分し、懇談会に提起されました。

① 経年劣化による施設の老朽化が著しい

- ・施設全体（スケートリンク除く）の経過年数平均が30年であり、毎年多額の修繕費用がかかっている。また、そのために計画通りに修繕が進まなくなっている。
- ・修繕が滞れば、利用者の事故等に繋がる危険性がある。
- ・利用者のボランティア活動による施設維持の負担が大きくなっている。

② 生涯スポーツ活動・健康増進のコア施設が整備されていない

- ・トレーニングセンター、全天候型多目的施設、総合体育館などが未整備である。
- ・学校開放体育館は、クラブ活動が優先され、一般競技の大会開催や合宿誘致に繋がらない。

③ 施設の管理形態及び団体が多種多様である

- ・指定管理、団体委託・直営・団体助成など、管理形態の違いにより施設の運営にも違いが生じている。
- ・管理団体ごとに連絡調整が必要となるため、管理状況の把握や事務手続きが煩雑になる。また、利用者にわかりづらい。

④ 施設管理業務にかかる時間と労力の増加

- ・上記の課題が山積しているため、担当係の施設管理業務にかかる比重が年々増加しており、生涯スポーツ推進のための講座や教室等のソフト事業推進に影響がある。

II. 課題と方向性の提起



2 斜里町公共施設等総合管理計画での体育施設（方向性の提起）

＜斜里町公共施設等総合管理計画とは＞

- 斜里町が保有する公共施設等の今後のあり方と施設配置を検討し、町民が必要とするサービスを効率的・持続的に提供するため、公共施設の最適化を図るものとして、町は平成28年3月に「斜里町公共施設等管理計画（～52年度）」（以下「管理計画」という）を策定しました。
- 管理計画では、下記のとおり運動施設全体の方向性が示されています。

【施設全体の方向性】

- ・運動施設は、概ね現状どおり活用しながら、経年劣化に応じ、適切な維持管理と修繕・改修を行う。

【施設別の方針】

- ①海洋センタープールは、ビニールシートから固定屋根方式への改修を検討する。
- ②赤木体育館は、老朽化のため3年以内に廃止する。（※H29年度除却済み）
- ③ウトロスキー場は、15年以内に廃止又は他用途転用を検討する。
- ④海洋センター体育館とプールを共同利用管理できる施設に改修を検討する。
- ⑤武道館は、大規模改修時に使用料（暖房費など）の増額を検討する。

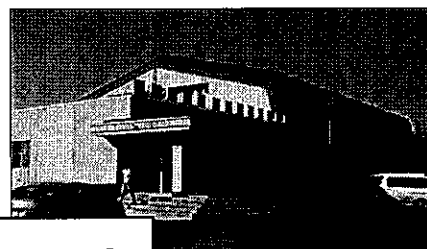
※ 管理計画の期間は、25年となっており、その間の社会情勢等の変化により、当初の方向性や方針が変わっていくことも予想されます。

III. 検討結果【第1章 既存施設】

1 B & G 海洋センター体育館

【施設概要】

- 開館年: 昭和 57 年 ■経過年: 35 年
- 開館期間: 通年 ■管理: 直営
- 利用人数: 17,744 人/年 (H28 年度)



現状満足度 C

◆課題

- ①施設が雨漏りしている。
- ②体育館アリーナ床板が摩耗し、ワックスが効かない状態なのでスライディングなどが危険。
- ③トレーニング機器が整備されていない。
- ④アリーナの照明が交換してもすぐ切れてしまう。また、足場を組まなければ交換できない。
- ⑤アリーナ天井の空調ファンが未使用のままの状態である。
- ⑥アリーナが狭く、観覧スペースが無いため中規模以上の大会・教室が開催できない。
- ⑦アリーナの窓の一部にしか網戸が設置されていない。
- ⑧玄関にスロープがないため、車いす等での入館が困難。
- ⑨アリーナ内に荷物を置くスペースがない。
- ⑩更衣室がほとんど利用されていない。
- ⑪体育館とプールの玄関が離れているため、それぞれの施設に管理人が必要である。

●現実的対応策

【早急に対応すべきこと】(※優先事項順に記載)

- ・アリーナ窓のすべてに網戸設置 → 更衣室の有効利用 → 屋根の塗装防水改修 → アリーナ床板張替 → 玄関スロープ設置

【将来的に対応すべきこと】

- ・利用者の利便性向上と管理運営体制の効率化を図るため、体育館とプールを接続し一体的な施設とする。

★理想的対応策

- ☞海洋センター体育館と武道館の間にギャラリー機能を備えた体育館を整備し、それぞれの施設を接続することで総合的なスポーツの拠点とする。(海洋センター体育館は、サブ的に活用)
- ※このことにより、現状のほとんどの課題が解消される。

◎付帯意見等

- ①アンケート調査結果から、生涯スポーツとして健康維持・体力向上を目的にしている利用団体の満足度は比較的高いが、競技性を高める目的の団体では満足度が低い傾向にある。
- ②スポーツ拠点ができれば、各種大会やスポーツ合宿の誘致に繋げることができ、まちの活性化が図られる。

□現状満足度: A(非常に良い)・B(良い)・C(普通)・D(悪い)・E(非常に悪い)

Ⅲ. 検討結果【第1章 既存施設】

2 B & G海洋センタープール

【施設概要】

- 開館年:昭和 57 年 ■経過年:35 年
- 開館期間:5 月～10 月 ■管理: 直営
- 利用人数:8,420 人/年 (H28 年度)



現状満足度 **D**

◆課題

- ①開館期間が短く、十分な練習ができない。最低でも4月～11月までの期間が必要。
- ②ビニール上屋のため、プールの管理が天候や気温に左右されるので利用しづらい。
- ③ビニール上屋の耐久性が低く、更新にコストがかかる。
- ④プールサイドの床暖設備が機能していない。
- ⑤水温を上げる手段が温泉の注入のみであり水温や水質の他、設備維持管理が難しい。
- ⑥気温が低くなると更衣室が寒い。
- ⑦玄関（受付）が離れているため、効率の良いプールの管理ができない。
- ⑧開館当時から利用している「ろ過機」の劣化により、ろ過砂の交換ができない。
- ⑨トイレの洋式化。
- ⑩水飲み場がトイレと同じ場所に設置されている。

●現実的対応策

【早急に対応すべきこと】（※優先事項順に記載）

・ろ過機修繕 → トイレの洋式化 → トイレと水飲み場の分離 → 上屋シートの補強（二重化など）

【将来的に対応すべきこと】

- ・温泉は施設内の暖房用等に利用し、プール水温の調整は上水の加温式で行う。
- ・利用者の利便性向上と管理運営体制の効率化を図るため、体育館とプールを接続し一体的な施設とするのにあわせて、玄関（受付）とプール監視を同時にできるよう改善する。
- ・近隣町との連携を強化し、施設の有効利用を図る。

★理想的対応策

- ☞ ビニール上屋ではないプール施設を整備し、通年利用を図る。（※通年利用が無理な場合は、4月～12月まで。）
- ※このことにより、現状のほとんどの課題が解消される。

◎付帯意見等

- ①近隣町との連携により利用期間の延長を図ってはどうか。
- ②競技力を高める目的だけではなく、町民の健康維持・体力向上の観点からもプールの役割は大きい。温泉も活用しながら、健康増進センター的な施設と複合して整備してはどうか。また、トレーニング設備を併せ持つことで相乗効果が図られるのではないかと。

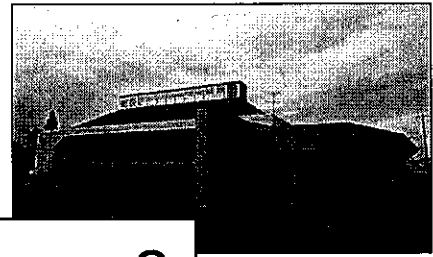
□現状満足度:A(非常に良い)・B(良い)・C(普通)・D(悪い)・E(非常に悪い)

III. 検討結果【第1章 既存施設】

3 斜里町武道館

【施設概要】

- 開館年:平成9年 ■経過年:20年
- 開館期間:通年 ■管理:直営(自主管理)
- 利用人数:8,809人/年(H28年度)



現状満足度 **C**

◆課題

- ①雨漏りが発生しているが、原因が特定できないため改修できていない。
- ②柔剣道場について、夏期は風通りが悪いため暑く、冬期は天井が高いため暖まるのに時間がかかる。
- ③集中暖房設備になっているが、使いづらく不具合が多い。
- ④常駐の管理人がいなく、自主管理となっており何かあった場合の対応に不安がある。
- ⑤施設玄関までの道が砂利であるため、春と秋に凸凹がひどい状態になり、車の通行に支障が出ている。
- ⑥弓道の遠的場が無い。

●現実的対応策

【早急に対応すべきこと】(※優先事項順に記載)

- ・屋根修繕(雨漏り対策) → 敷地の舗装化 → 弓道遠的場の整備(60m)

【将来的に対応すべきこと】

- ・空調設備の再整備 → 施設管理システムの整備(監視カメラなど)

★理想的対応策

- ☞ 屋根の全面改修と形状の見直し。(雨漏り・風通し・室内温度の安定対策)

◎付帯意見等

- ①使用料ではなく、暖房料の負担としてはどうか。(現状で利用者が、ほとんど少年団に限られており、弓道会以外は使用料免除団体である。)
- ②特定の人だけが利用しており、武道館に入っていない町民も多いのではないかと。武道関係者だけではなく、有効な活用方法の検討も必要。

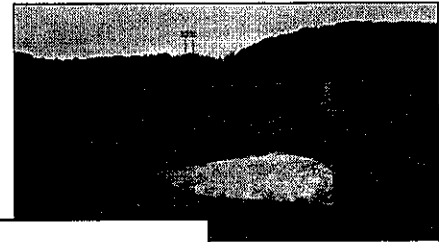
□現状満足度:A(非常に良い)・B(良い)・C(普通)・D(悪い)・E(非常に悪い)

Ⅲ. 検討結果【第1章 既存施設】

4 町営野球場

【施設概要】

- 開館年：昭和45年 ■経過年：47年
- 開館期間：5月～10月 ■管理：委託
- 利用人数：1,965人／年（H28年度）



現状満足度 **D**

◆課題

- ①長年の利用により、内野の高低差とピッチャープレートを含めたダイヤモンドに歪みが生じている。
- ②フェンスが昔ながらのコンクリート製なので、選手がぶつかると怪我の恐れがある。
- ③施設は、町から野球連盟が管理を委託しているが、後継者がいない。
- ④老朽化によりバックスクリーン・得点板の補修が必要である。
- ⑤内野の土が硬い。
- ⑥外野の芝生に傷みが激しい箇所が増えている。また凹凸があるなどプレーに支障をきたしている。
- ⑦雨が降るとベンチの中にまで水が入り込み使えない状況になる。
- ⑧球場傍のトイレが和式であり使用困難である。
- ⑨ベンチの椅子が老朽化している。

●現実的対応策

【早急に対応すべきこと】（※優先事項順に記載）

- ・ベンチ椅子の更新 → トイレの洋式化 → 正確な測量を行いベース位置等の修正 → 雨水対策の排水溝設置

【将来的に対応すべきこと】

- ・球場の委託管理体制見直し → フェンスの改修 → バックスクリーン・得点板の改修 → 内野土の入替え → 外野芝の全面張替え

★理想的対応策

- ☞ プロ野球の公式戦が開催できるような安全な設備が整備された球場の整備

◎付帯意見等

- ①現状の野球場は、野球競技にしか使用できない非効率な施設なので、もっと有効活用する方法を検討してはどうか。
- ②屋外競技についてもオールシーズン使用できる施設が必要ではないか。

□現状満足度：A(非常に良い)・B(良い)・C(普通)・D(悪い)・E(非常に悪い)

III. 検討結果【第1章 既存施設】

5 町営陸上競技場

【施設概要】

- 開館年:昭和 43 年 ■経過年:49 年
- 開館期間:5 月~10 月 ■管理:直営
- 利用人数:1,939 人/年 (H28 年度)

現状満足度 **C**

◆課題

- ①夕暮れから夜間も利用したい。
- ②管理棟が有効利用されていない。
- ③管理棟が老朽化している。
- ④トラックの土のコンディションが悪い。
- ⑤サッカーゴールが整備されていない。
- ⑥芝の状態が悪い。
- ⑦サッカー少年団の試合ができない。(ゴールがない。2面とれない。)

●現実的対応策

【早急に対応すべきこと】(※優先事項順に記載)

- ・傷んでいる芝の張替え → サッカーゴールの整備

【将来的に対応すべきこと】

- ・管理棟の改修 → 夜間照明の整備

★理想的対応策

- ☞ トラックをクレイ舗装又は、全天候舗装化(ゴムチップウレタン)する。

◎付帯意見等

- ①オールシーズンの人工芝施設として、健康増進センターを利用できないか。
- ②クロスカントリーコースを有効利用するために、夜間照明を整備するべきではないか。

□現状満足度:A(非常に良い)・B(良い)・C(普通)・D(悪い)・E(非常に悪い)

Ⅲ. 検討結果【第1章 既存施設】

6 テニスコート

【施設概要】

- 開館年:昭和56年 ■経過年:36年
- 開館期間:5月~11月 ■管理:直営
- 利用人数:1,314人/年(H28年度)



現状満足度 **D**

◆課題

- ①フェンスが腐食して、倒壊の恐れがある。
- ②オムニコートの傷みが激しい。
- ③コートラインが剥がれる。
- ④コートの所々に陥没している場所がある。
- ⑤コートの水捌けが良くない。
- ⑥周りの樹木が伸び、落ち葉やドングリの実がコート内に散乱している。

●現実的対応策

【早急に対応すべきこと】(※優先事項順に記載)

- ・支障のある樹木を剪定 → 剥がれているラインの部分修繕 → フェンス腐食箇所の修繕と補強

【将来的に対応すべきこと】

- ・オムニコートの全面張替え → フェンスの全面改修

★理想的対応策

- ☞ オールシーズン利用可能なコートの整備。

◎付帯意見等

- ①利用団体は、コートの改修を優先させたいとのことだが、高校生の利用も多いとのことであり、危険度が高いフェンスの改修を優先させた方がよい。

□現状満足度:A(非常に良い)・B(良い)・C(普通)・D(悪い)・E(非常に悪い)

III. 検討結果【第1章 既存施設】

7 パークゴルフ場（町民公園・シーサイド）

【施設概要】

- 開館年：平成9年 ■経過年：20年
- 開館期間：5月～10月 ■管理：指定管理
- 利用人数：14,551人／年（H28年度）



現状満足度 **D**

◆課題

- ①町民公園コース（18ホール）と、シーサイドコース（18ホール）が離れているため、不便である。大会は36ホール以上のスコアで競われる。
- ②コースが離れているため、管理に手間がかかり、経費も余計にかかる。
- ③施設の管理運営は、平成18年度から斜里町パークゴルフ協会で指定管理を受託しているが、作業員が高齢化し、会員も減少していることから継続は難しい。
- ④シーズン券について、70歳以上は3,500円だが、一般（高校生以上70歳未満）は7,000円と、近隣市町村から比べて高額である。

●現実的対応策

【早急に対応すべきこと】（※優先事項順に記載）

- ・管理団体の組織化 → 芝の補修

【将来的に対応すべきこと】

- ・1カ所に36ホール以上が整備されたコースの造成。

★理想的対応策

- ☞ 全道規模の大会が開催可能なコースの整備。72ホール以上が望ましい。

◎付帯意見等

- ①現状満足度で、パークゴルフ協会のアンケート結果は「B」であったが、直接聞き取った結果、コースの整備状態は「良い」が、使いやすさなど、施設自体については「D」である。

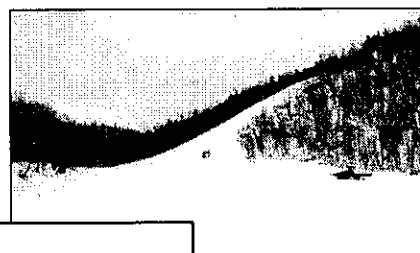
□現状満足度：A(非常に良い)・B(良い)・C(普通)・D(悪い)・E(非常に悪い)

Ⅲ. 検討結果【第1章 既存施設】

8 ウトロスキー場

【施設概要】

- 開館年:昭和44年 ■経過年:48年
- 開館期間:12月~3月
- 管理:知床スキー場運営委員会
- 利用人数:1,959人/年(H28年度)
- 設備:ヒュッテ・ロープトウなど



現状満足度 **C**

◆課題

- ①ヒュッテが手狭で老朽化している。また、20名くらいしか入れないため、イベント時は野外にすることが多くなる。
- ②ロープトウは、ウナベツスキー場で使用しなくなったものを平成26年に移設して使っており、この先の耐久性に不安がある。
- ③小型(125cc)のスノーモービルを2台使用しているが、個人所有のもので故障が多い。
- ④外国人観光客の対応で言葉が通じないため苦勞している。
- ⑤レンタルスキーが無いので自治会のソリを無料で貸し出している。

●現実的対応策

【早急に対応すべきこと】(※優先事項順に記載)

- ・スノーモービルの新規導入

【将来的に対応すべきこと】

- ・ヒュッテの改修

★理想的対応策

- ☞ ヒュッテの改修は、夏期間のパークゴルフでも利用できるほか、子どもからお年寄りまでの地域住民が集い、レクリエーション・スポーツなどに親しむことができる拠点づくりを目的にした施設とする。

◎付帯意見等

- ①ヒュッテは、夏のパークゴルフ場でも利用できるような通年施設として改築してはどうか。
- ②管理している団体が、現状の設備等を創意工夫することで施設が円滑に運営されている。他の団体も見習うべき。

□現状満足度:A(非常に良い)・B(良い)・C(普通)・D(悪い)・E(非常に悪い)

III. 検討結果【第1章 既存施設】

9 ウトロパークゴルフ場

【施設概要】

- 開館年:平成 15 年 ■経過年:14 年
- 開館期間:5 月~11 月
- 管理:ウトロパークゴルフ場運営委員会
- 利用人数:1,830 人/年 (H27 年度)



現状満足度 **D**

◆課題

- ①芝の状態をもう少し良くしてほしい。(張芝での整備)
- ②管理を担っている運営委員会の会員が高齢者のみで若手がない。
- ③利用者のほとんどが高齢者で若者や子どもの利用が少ない。
- ④9 ホールしかないため、施設全体の整備を検討してもらいたい。

●現実的対応策

【早急に対応すべきこと】(※優先事項順に記載)

- ・傷んだ芝の補修(張芝)

【将来的に対応すべきこと】

- ・コースの拡充

★理想的対応策

- ☞ パークゴルフ場を子どもからお年寄りまで、また観光客の方も楽しめる施設として整備する。(ヒュッテの建替えなどと複合した施設)

◎付帯意見等

- ① 今後の施設維持については、ウトロ自治会など地域の方との協議が必要ではないか。

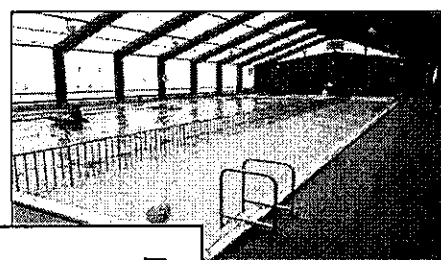
□現状満足度:A(非常に良い)・B(良い)・C(普通)・D(悪い)・E(非常に悪い)

Ⅲ. 検討結果【第1章 既存施設】

10 ウトロ地域水泳プール

【施設概要】

- 開館年:平成5年 ■経過年:25年
- 開館期間:6月~9月 ■管理:直営
- 利用人数:1,217人/年(H28年度)



現状満足度 **B**

◆課題

- ①強風により、上屋ビニールシートが破損する危険性が高い。
- ②開館以来、ろ過砂の交換ができていない。
- ③上屋がビニールシート方式のため、温度管理が難しい。
- ④施設内に健康器具を常備し、さらなる健康増進を図りたい。
- ⑤老朽化に起因した破損等に対して、早急な修繕対応ができていない。

●現実的対応策

【早急に対応すべきこと】(※優先事項順に記載)

- ・小破修繕箇所への対応 → 簡易的な健康器具の整備 → ろ過砂の交換

【将来的に対応すべきこと】

- ・度重なる強風により、上屋シートの破損が繰り返し生じているため、これに対応できるような施設の補強

★理想的対応策

- ☞ ビニール上屋から屋根を固定化に改修することで開館期間の延長と強風対策を行う。
- ☞ 隣接する「子ども公園」との相乗効果が図られる事業を企画実施することで、地域コミュニティの創造及び促進をめざす。

◎付帯意見等

- ① 平成29年度から、知床ウトロ学校の夏季休業期間にウトロプールの午前開館を行ったことは、大変良いことだと思う。

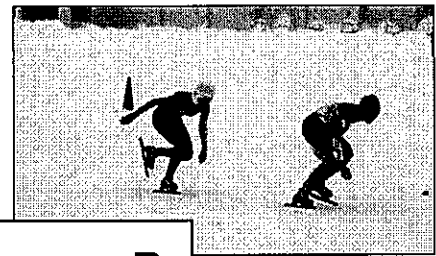
□現状満足度:A(非常に良い)・B(良い)・C(普通)・D(悪い)・E(非常に悪い)

III. 検討結果【第1章 既存施設】

1 1 町営スケートリンク

【施設概要】

- 開館年：昭和26年 ■経過年：66年
- 開館期間：12月下旬～3月 ■管理：直営
- 設備：管理棟・休憩室・トイレ
- 利用人数：4,937人／年（H28年度）



現状満足度 **B**

◆課題

- ①郡部の小学校が統廃合され、町内のスケートリンクが1カ所になったことにより、スケート競技が身近なものでは無くなってきている。これに伴いスケート人口のさらなる減少が懸念される。
- ②天候、気温の影響を大きく受けるため、開設日数が短くなるシーズンがある。
- ③初心者、親子連れが気軽に利用できる環境整備が必要である。
- ④放課後、スクールバスの待ち時間などに利用できない。
- ⑤管理棟、休憩室の外壁が老朽化により傷みが激しい。

●現実的対応策

【早急に対応すべきこと】（※優先事項順に記載）

- ・開館時間変更の検討 → 保育園や学校と連携したスケート教室の実施 → 管理棟、休憩室の外壁改修

【将来的に対応すべきこと】

- ・初心者コースと上級者コースを備えたスケートリンクの開設。

★理想的対応策

- ☞ 管理棟、休憩室をスケートリンクの開設期間だけでなく、例えば、防災機能を持つような通年利用施設にする。

◎付帯意見等

- ① 照明設備が整っている斜里中学校のグラウンドをさらに有効活用するため、他の利用団体との協議を行い、スケートリンクの規模縮小などを検討する必要がある。

□現状満足度：A(非常に良い)・B(良い)・C(普通)・D(悪い)・E(非常に悪い)

Ⅲ. 検討結果【第1章 既存施設】

1 2 ウナベツスキーハウス

【施設概要】

- 開館年：平成7年 ■経過年：22年
- 開館期間：12月～3月
- 管理：NPO法人 知床斜里町観光協会
- リフト利用人数：54,893人／年（H28年度）



現状満足度 **B**

◆課題

- ①平成28年度に、施設内トイレを和式から洋式に改修したため、大きな課題はなくなった。
- ②細かい点としては、てんとう虫やカメムシなどの害虫が大量発生しており、駆除が課題となっている。

●現実的対応策

【早急に対応すべきこと】（※優先事項順に記載）

- ・特になし。

【将来的に対応すべきこと】

- ・現状の機能を維持する。

★理想的対応策

- ☞ 特になし。

◎付帯意見等

- ① スキーハウスは、所管が教育委員会で、管理を知床斜里町観光協会に委託しているが、スキー少年団の親の会にも協力してもらいながら清掃などを行っており、円滑に運営されている。

□現状満足度：A(非常に良い)・B(良い)・C(普通)・D(悪い)・E(非常に悪い)

III. 検討結果【第1章 既存施設】

1.3 学校開放体育館

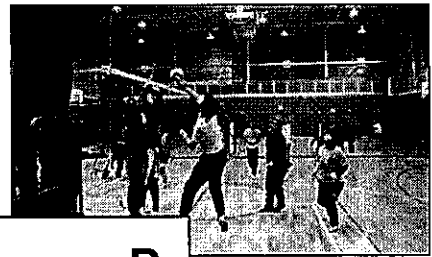
【施設概要】

■施設：斜里小学校・朝日小学校・斜里中学校
知床ウトロ学校 各体育館

■事業開始年：平成18年 ■経過年：11年

■開館期間：通年 ■管理：直営

■利用人数：斜小1,880人/年、朝小2,882人/年、斜中6,231人/年、
ウトロ1,421人/年（H28年度）



現状満足度 **B**

◆課題

- ①利用回数が足りない。（もっと利用したい。）
- ②朝日小体育館の雨漏りがひどい状態。数年前から改善を要望しているが対応されていない。
- ③斜里小・朝日小体育館の床面ワックス掛けがされていない。
- ④学校行事で使えない日が増えている。
- ⑤朝日小体育館の間仕切り防球ネット開閉チェーンが破損している。
- ⑥バドミントン・バレーボールのネット・ポールなどが破損している。
- ⑦ウトロ体育館を土日・祝日も開放してもらいたい。

●現実的対応策

【早急に対応すべきこと】（※優先事項順に記載）

・朝日小屋根の改修 → 学校行事との調整（半面開放など） → ワックスがけの実施 → 使用備品の点検と修繕及び更新

【将来的に対応すべきこと】

・修繕や改修を計画的に行いながら、現状を維持していく。

★理想的対応策

⇒ 学校開放事業では、これ以上の利用要望への対応は難しいため、ギャラリー機能を備えた体育館を新たに整備し、多くの団体の活動の場を広げる。

◎付帯意見等

- ① 少年団利用も検討してもらいたい。
- ② 学校授業終了時から学校開放事業開始までの時間帯を学校側の協力で利用できるようにしてもらいたい。

□現状満足度：A(非常に良い)・B(良い)・C(普通)・D(悪い)・E(非常に悪い)

Ⅲ. 検討結果【第2章 検討結果比較】既存施設検討結果及び公共施設等総合管理計画との比較一覧表

No.	施設名	開設年 (事業開始)	経過年 (H29年末)	現 状 満足度	現実的対応策			理想的な対応	付帯意見等	総合管理計画での 方向性
					早急な対応事項	将来的な対応事項	優先度			
1	海洋センター体育館	昭和57年	35年	C	①アリーナ窓のすべてに網戸設置 ②更衣室の有効利用 ③屋根の塗装防水改修（雨漏り対策） ④アリーナ床板張替 ⑤玄関スロープ設置	・利用者の利便性向上と管理運営体制の効率化を図るため、体育館とプールを接続し一体的な施設とする。	B	・海洋センター体育館と武道館の間にギャラリー機能を備えた体育館を整備し、それぞれの施設を接続することで総合的なスポーツの拠点とする。（海洋センター体育館は、サブ的に活用） ※このことにより、現状のほとんどの課題が解消される。	①アンケート調査結果から、生涯スポーツとして健康維持・体力向上を目的にしている利用団体の満足度は比較的高いが、競技性を高める目的の団体では満足度が低い傾向にある。 ②スポーツ拠点ができれば、各種大会やスポーツ合宿の誘致に繋げることができ、まちの活性化が図られる。	海洋センター体育館とプールを共同利用管理できる施設に改修を検討する。
2	海洋センタープール	昭和57年	35年	D	①ろ過機修繕 ②トイレの洋式化 ③トイレと水飲み場の分離 ④上屋シートの補強（二重化など）	・温泉は施設内の暖房用等に利用し、プール水温の調整は上水の加温式で行う。 ・利用者の利便性向上と管理運営体制の効率化を図るため、体育館とプールを接続し一体的な施設とするのにあわせて、玄関（受付）とプール監視を同時にできるよう改善する。 ・近隣町との連携を強化し、施設の有効利用を図る。	B	・ビニール上屋ではないプール施設を整備し、通年利用を図る。（※通年利用が無理な場合は、4月～12月まで。） ※このことにより、現状のほとんどの課題が解消される。	①近隣町との連携により利用期間の延長を図ってはどうか。 ②競技性を高める目的だけではなく、町民の健康維持・体力向上の観点からもプールの役割は大きい。温泉も活用しながら、健康増進センター的な施設と複合して整備してはどうか。また、トレーニング設備を併せ持つことで相乗効果が図られるのではないかと。	海洋センタープールは、ビニールシートから固定屋根方式への改修を検討する。
3	武道館	平成9年	20年	C	①屋根修繕（雨漏り対策） ②敷地の舗装化 ③弓道遠的場（60m）の整備	・空調設備の再整備 ・施設管理システムの整備（監視カメラなど）	C	・屋根の全面改修と形状の見直し。（雨漏り・風通し・室内温度の安定対策）	①使用料ではなく、暖房料の負担としてはどうか。（現状で利用者が、ほとんど少年団に限られており、弓道会以外は使用料免除団体である。） ②特定の人だけが利用しており、武道館に入ったことがない町民も多い。武道関係者だけではなく、有効な活用方法の検討も必要。	武道館は、大規模改修時に使用料（暖房費など）の増額を検討する。
4	野球場	昭和45年	47年	D	①ベンチ椅子の更新 ②トイレの洋式化 ③正確な測量を行いベース位置等の修正 ④ 雨水対策の排水溝設置	・球場の委託管理体制見直し ・フェンスの改修 ・バックスクリーン・得点板の改修 ・内野土の入替え ・外野芝の全面張替え	B	・プロ野球の公式戦が開催できるような安全な設備が整備された球場の整備	①現状の野球場は、野球競技にしか使用できない非効率な施設なので、もっと有効活用する方法を検討してはどうか。 ②屋外競技についてもオールシーズン使用できる施設が必要ではないかと。	
5	陸上競技場	昭和43年	49年	C	①傷んでいる芝の張替え ②サッカーゴールの整備	・管理棟の改修 ・夜間照明の整備	B	・トラックをクレイ舗装又は、全天候舗装化（ゴムチップウレタン）する。	①オールシーズンの人工芝施設として、健康増進センターを利用できないか。 ②クロスカントリーコースを有効利用するために、夜間照明を整備するべきではないかと。	
6	テニスコート	昭和56年	36年	D	①支障のある樹木を剪定 ②剥がれているラインの部分修繕 ③フェンス腐食箇所の修繕と補強	・オムニコート全面張替え ・フェンスの全面改修	A	・オールシーズン利用可能なコートの整備。	①利用団体は、コートの改修を優先させたいとのことだが、高校生の利用も多いとのことであり、危険度が高いフェンスの改修を優先させた方がよい。	

■現状満足度：A（非常に良い）、B（良い）、C（普通）、D（悪い）、E（非常に悪い）

■将来的な対応事項に対する優先度：A（高い）、B（やや高い）、C（今後も検討が必要）

Ⅲ. 検討結果【第2章 検討結果比較】既存施設検討結果及び公共施設等総合管理計画との比較一覧表

No.	施設名	開設年 (事業開始)	経過年 (H29年末)	現 状 満足度	現実的対応策			理想的な対応	付帯意見等	総合管理計画での 方向性
					早急な対応事項	将来的な対応事項	優先度			
7	パークゴルフ場	平成9年	20年	D	①管理団体の組織化 ②芝の補修	・1カ所に36ホール以上が整備されたコースの造成。	C	・全道規模の大会が開催可能なコースの整備。72ホール以上が望ましい。	①現状満足度で、パークゴルフ協会のアンケート結果は「B」であったが、直接聞き取った結果、コースの整備状態は「良い」が、使いやすさなど、施設自体については「D」である。	
8	ウトロスキー場	昭和44年	48年	C	①スノーモービルの新規導入	・ヒュッテの改修	A	・ヒュッテの改修は、夏期間のパークゴルフでも利用できるほか、子どもからお年寄りまでの地域住民が集い、レクリエーション・スポーツなどに親しむことができる拠点づくりを目的にした施設とする。	①ヒュッテは、夏のパークゴルフ場でも利用できるような通年施設として改築してはどうか。 ②管理している団体が、現状の設備等を創意工夫することで施設が円滑に運営されている。他の団体も見習うべき。	ウトロスキー場は、15年以内に廃止又は他用途転用を検討する。
9	ウトロパークゴルフ場	平成15年	14年	D	①傷んだ芝の補修(張芝)	・コースの拡充	C	パークゴルフ場を子どもからお年寄りまで、また観光客の方も楽しめる施設として整備する。(ヒュッテの建替えなどと複合した施設)	①今後の施設維持については、ウトロ自治会など地域の方との協議が必要ではないか。	
10	ウトロ地域水泳プール	平成5年	25年	D	①小破修繕箇所への対応 ②簡易的な健康器具の整備 ③ろ過砂の交換	・度重なる強風により、上屋シートの破損が繰り返し生じているため、これに対応できるような施設の補強。	A	・ビニール上屋から屋根の固定化をすることで開館期間の延長と強風対策を行う。 ・隣接する「子ども公園」との相乗効果が図られる事業を企画実施することで、地域コミュニティの創造及び促進をめざす。	①平成29年度から、知床ウトロ学校の夏季休業期間にウトロプールの午前開館を行ったことは、大変良いことだと思う。	
11	スケートリンク	昭和26年	66年	B	①開館時間変更の検討 ②保育園や学校と連携したスケート教室の実施 ③管理棟、休憩室の外壁改修	・初心者コースと上級者コースを備えたスケートリンクの開設。	C	・管理棟、休憩室をスケートリンクの開館期間だけでなく、例えば、防災機能を持つような通年利用施設にする。	①照明設備が整っている斜里中学校のグラウンドをさらに有効活用するため、他の利用団体との協議を行い、スケートリンクの規模縮小などを検討する必要がある。	
12	ウナベツスキーハウス	平成7年	22年	B	・特になし	・現状の機能を維持する。	C	・特になし	①スキーハウスは、所管が教育委員会で、管理を知床斜里町観光協会に委託しているが、スキー少年団の親の会にも協力してもらいながら清掃などを行っており、円滑に運営されている。	
13	学校開放体育館	平成18年	11年	B	①朝日小屋根の改修 ②学校行事との調整(半面開放など) ③ワックスがけの実施 ④使用備品の点検と修繕及び更新	・修繕や改修を計画的に行いながら、現状を維持していく。	C	・学校開放事業では、これ以上の利用要望への対応は難しいため、ギャラリー機能を備えた体育館を新たに整備し、多くの団体の活動の場を広げる。	①少年団利用も検討してもらいたい。 ②学校授業終了時から学校開放事業開始までの時間帯を学校側の協力で利用できるようにしてもらいたい。	

■現状満足度：A（非常に良い）、B（良い）、C（普通）、D（悪い）、E（非常に悪い）

■将来的な対応事項に対する優先度：A（高い）、B（やや高い）、C（今後も検討が必要）

III. 検討結果【第3章 総合型地域スポーツクラブ】

1 総合型地域スポーツクラブとは

- 文部科学省では、平成7年度から15年度までの9年間、地域のコミュニティの役割を担うスポーツクラブづくりに向けた先導的なモデル事業として、地域住民の自主的な運営を目指す「総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業」を実施してきました。

『総合型地域スポーツクラブ』（以下「スポーツクラブ」という。）とは、人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、①子どもから高齢者まで（多世代）、②様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、③初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的な運営によるスポーツクラブのことで、会費による運営を原則としています。

- 国がスポーツクラブを推進する背景として、国内では、これまでの経済中心型の社会から成熟した市民社会への転換を図るため、従来からの行政主導型システムを見直す動きが活発になっています。このことはスポーツにおいても例外ではなく、学校・スポーツ団体・企業・行政に多くを依存してきたシステムを、住民一人一人がスポーツ文化をそれぞれの地域の中でどのように育て、日常生活の中に定着させていくかを支援するためのシステムに転換していくことが求められています。

このことは、個々人においてみた場合、今後、増大することが予想される自由時間やゆとりを国民一人一人が主体的に活用し、文化としてのスポーツに理解を深め、それぞれのライフステージにおいて継続的にスポーツに親しむ主体性の確立が求められていると言えます。

- こうした意味でスポーツクラブの育成は、地域におけるスポーツ行政、スポーツ団体などの在り方を含め、これからの地域スポーツの振興の仕組みの改革であると言えます。このような背景の中で、平成12年9月、文部科学省は「スポーツ振興基本計画」を策定しました。この基本計画では、生涯スポーツに関する政策目標として、①生涯スポーツ社会の実現、②その目標として、「成人の週1回以上のスポーツ実施率が2人に1人になることを目指す」ことが掲げられています。

- そして、これを実現するための具体的な施策展開として、計画期間の平成22年までの10年間に全国の各市区町村において少なくとも一つは、スポーツクラブを育成すること、さらに総合型地域スポーツクラブの運営や活動を支援する広域スポーツセンターを各都道府県において少なくとも一つは育成することとしています。

- 国の計画におけるスポーツクラブの位置付けの変遷は次のとおりとなっています。

【文部科学省】

◇スポーツ振興基本計画（平成13年度～平成23年度）

↓ ※平成22年までに全国市区町村に少なくとも1つ育成する。

◇スポーツ基本計画（平成24年度～平成28年度）

↓ ※地域の実情に応じたきめ細かなクラブの育成を支援する。

【文部科学省・スポーツ庁】

◇第2期スポーツ基本計画（平成29年度～平成33年度）

※クラブ数の量的拡大から質的充実に重点を移した施策を推進する。

Ⅲ. 検討結果【第3章 総合型地域スポーツクラブ】 ■■■■■

2 総合型地域スポーツクラブ設置の現状と課題

■ 全国的な現状と課題

【現状】

- ・平成 28 年 7 月現在のスポーツクラブ数は、全国で 3,586 クラブ。全市区町村の育成率は、80.8%。会員数は、約 130 万人以上となっています。
- ・北海道内では、クラブがある市町村数は 105 自治体となっており、道内の全市町村数 179 で割ると、58.7%の育成率となっています。
- ・上記のうち、市だけの育成率は、85.7% (30 クラブ÷35 市) ですが、町村の場合は、52.1% (75 クラブ÷144 町村) となっています。
- ・オホーツク管内では、クラブがある市町村数は 8 自治体となっており、管内の全市町村数 18 で割ると、44.4%の育成率となっています。

【課題】

- ・運営の自己財源率が 50%以下のクラブが 43.5%、PDCA (計画 - 実行 - 評価 - 改善) サイクルが定着していないクラブの割合は 62.1% (H27 現在)。
- ・行政と連携して地域の課題解決に取り組んでいるスポーツクラブの割合は 18.4% (H27 現在)。
- ・スポーツクラブの認知度は 31.4% (H24 調査) であり、今後、地域から求められる役割を果たし、地域に定着していくことが課題となっています。
- ・創設されるスポーツクラブ数の減少に伴い、支援の中心がスポーツクラブの自立的な運営の促進に向けた支援に移行してきている状況も踏まえ、各支援主体の役割分担を明確化して支援体制の再構築等を図ることが課題となっています。

■ 斜里町の現状 (検討経過) と課題

【現状 (検討経過)】

- ・「斜里町スポーツ推進計画 (平成 26 年度～平成 30 年度)」の中で、「総合型地域スポーツクラブの検討を進めます。」と明記し、次のとおりの検討を進めている。
- ・平成 26 年 8 月、スポーツクラブ設立検討のための関係機関説明資料及びロードマップ (行程表) 案を作成。
- ・同年 12 月 12 日、先進地視察「NPO 法人 羅臼スポーツクラブ・らいず」
- ・同年 12 月 19 日、平成 26 年度 第 1 回斜里町スポーツ推進審議会で協議 (委員の主な意見)
 - スポーツクラブの必要性が感じられない。現状の少年団活動で十分だ。会費に見合った成果を上げられるのか疑問。会費だけでは運営できない。
- ・平成 27 年 1 月、平成 27 年度予算査定時内部協議 (※設立準備委員会の結成を目的とした先進地視察経費 303 千円計上) (協議内容)
 - 成功例だけでなく、設置を断念した管内の自治体の状況も確認してはどうか。
- ・同年 3 月 24 日、平成 26 年度 第 2 回斜里町スポーツ推進審議会で協議 (委員の主な意見)
 - 斜里町の実情にあったクラブの設置に向けて、町民にわかりやすく理解できるよう時間をかけた検討が必要。

■ ■ ■ ■ ■ III. 検討結果【第3章 総合型地域スポーツクラブ】

- ・ 同年 11 月 4 日、訓子府町視察（※平成 22 年度にスポーツクラブ設立準備会を設置して、実質 3 年間活動を行ってきたが断念している。）
- ・ 平成 28 年 9 月 23 日、平成 28 年度 第 1 回斜里町スポーツ推進審議会で協議（協議結果）
 - 審議会の意見として、スポーツクラブは現状では必要ないと判断するが、広く町民の意見を聞いてみたいので、新たに組織する体育施設等検討町民懇談会での意見を伺いたい。

【課題】

- ・ 視察結果などから、斜里町におけるスポーツクラブ設置の課題は、主に次の 4 つがあります。

① 指導員・クラブマネジャー育成の課題

→ スポーツ運営に精通したマネジメント能力を持つ「クラブマネジャー」の存在はクラブの成功を左右する大変重要な要素であるが、人材の確保が難しい。

② 会員構成・組織の課題

→ スポーツクラブの会員を、幼児から高齢者までの幅広いものとするか、児童限定のものにするのか、高齢者だけのものにするのか、また、単位自治会の範囲を基本とするのかなど、構成をどのようにするのが課題。さらに、既存の体育協会や少年団などとの関係性についても整理が必要である。

③ 活動資金確保の課題

→ スポーツクラブの運営は、原則会費等の自己財源での賄うことが求められているが、継続運営するためには、スタッフの人件費などの資金面が重荷になってくる。日本スポーツ振興センター（toto）からは、設立スタート時から 5 年間は、約 200 万円程度の助成が見込まれるが、その後運営が立ち行かなくなる可能性が有る。

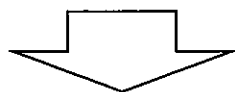
④ 地域住民の理解と協力

→ スポーツクラブは、地域コミュニティの役割を担うことが設立の大きな目的であり、地域住民の理解と協力が活動の基盤とならなければ意味が無いものである。このため、スポーツクラブの有効性を地域住民が理解することが必要不可欠であり、設立に向けての機運の醸成が課題である。

Ⅲ. 検討結果【第3章 総合型地域スポーツクラブ】

3 今後の方向性

- 前述している現状・課題を踏まえ、当懇談会として今後の方向性を次のとおり検討しました。
 - ① 町内のスポーツ少年団は現在 12 団体あり、熱心な指導者の下でそれぞれに有意義な活動が行われていることから、安易に現状の体制を崩すようなことは時期尚早であり、現状で住民理解を得ることは難しいと考える。
 - ② 運動能力を向上させるため、幼児期からスポーツに親しむ環境づくりは大変重要であると考え、親子で参加できる運動教室の充実は有効であり、ここをターゲットとしたスポーツクラブの需要は高いのではないかと考える。
 - ③ 子どもから高齢者までの幅広い年齢で構成されたスポーツクラブは、地域コミュニティづくりとしても重要であるが、活動内容を魅力あるものにしなければ継続は難しいと考えるため、例えば、ウトロ地域などでモデル的な活動を行いながらその効果を見極める必要があるのではないかと考える。
 - ④ スポーツクラブ設立の最大の懸案事項として、クラブマネジャーの人材を確保するのは困難であることと、財政的に町などの支援が無いと運営は難しいことがあげられる。
- ◆ ①～④の意見等から、スポーツクラブの目指すものや活動の有効性については、十分理解するところではありますが、斜里町の現状として、早期の導入は難しいと判断します。ただ、将来的にスポーツクラブの必要性の機運を醸成するため、また、正式なスポーツクラブとしてではなくても、その趣旨や意義を踏襲できるような斜里町の現状を踏まえた独自の事業展開を行っていくべきと考えます。



<取組み事業案>

○スポーツ少年団リレー体験会

→小学校低学年児童を対象に、スポーツ少年団の体験入団を実施し、一定の期間さまざまな競技を体験してもらう機会を作ることで、真に自分に合ったスポーツを見つけてもらう。

○親子スポーツ教室の充実

→幼児と保護者を対象に、身体を動かす楽しさを知ってもらう。町で実施している親子向けわんぱく教室の拡充など。

○3世代交流レクリエーション交流会

→世代を超えて楽しめる軽スポーツやレクリエーションにより3世代が交流することで、コミュニティづくりを推進する。

III. 検討結果【第4章 課題に対する意見】

1 町からの課題提起に対する懇談会からの意見

町の課題	懇談会意見
経年劣化による施設の老朽化が著しい	<p>・斜里町公共施設等総合管理計画では、「運動施設は、概ね現状どおり活用しながら、経年劣化に応じ、適切な維持管理と修繕・改修を行う。」との方針が出されており、基本的にはそれを尊重するが、修繕・改修の優先順位は、状況に応じ変化するため、常に管理団体や利用者の声に耳を傾ける姿勢をもち、利用者の安全を第一に考えた適切な対応に努めてもらいたい。</p>
生涯スポーツ活動・健康増進のコア施設が整備されていない	<p>・今回、体育施設を利用する一般から学校の部活動までを含めた、ほぼすべての33団体に対しアンケート調査を行ったところ、施設の満足度について、生涯スポーツ・健康維持を目的とする団体からは、普通以上の評価となっているが、競技力を高めたい団体では低評価となっている現状が明らかになっており、特に屋外競技や水泳競技からは、通年利用できる施設の整備要望が強いため、なるべく早い時期での対応に努めてもらいたい。</p>
施設の管理形態及び団体が多種多様である	<p>・指定管理、団体委託、直営、団体助成など、管理形態が多様化し、それに伴って管理団体が複数あることで、それぞれの体育施設の維持・運営レベルに格差が生じている。また、管理団体の作業員が高齢化している状況にあり、体育施設の管理に特化した組織を早期に構築し、全体を一元的に管理・運営する体制の整備が必要と考えます。</p>
施設管理業務にかかる時間と労力の増加	<p>・町内体育施設のおよそ6割が直営となっているが、管理形態や団体を一元化することによって、施設管理業務の軽減を図り、体力向上・健康維持を目的とした生涯スポーツ推進のための講座や教室等の事業展開の拡充が図られることを期待します。</p>

※町の課題の詳細は、2頁を参照してください。

Ⅲ. 検討結果【第4章 課題に対する意見】 ■■■■■■■■■■

2 まとめ

- スポーツの素晴らしさは、それぞれの年代や趣味・趣向にあわせた楽しみ方ができ、心と身体を健康にし、日々の生活を豊かなものにしてくれるところです。そして、そこには必ずコミュニティが形成され、町全体を元気にしてくれるものです。
- 平成28年11月からこれまで、町内の33のスポーツ団体等にアンケート調査をお願いし、そのうち8団体の代表者延べ20名の方々には会議に参加してもらい、直接現状と課題の聞き取りをさせていただきました。あらためまして、皆さまのご協力に心から感謝しているところです。
- 懇談会を進めて行く中で、これまで自分たちが所属しているスポーツ団体の現状しか分からずにいましたが、他団体の方々のスポーツに対する情熱やご苦労、また、町に頼るのではなく、自らが率先して施設運営や整備に取り組まれている姿などを委員全体で共有できたと実感しております。
- 全ての人のスポーツをする目的に合致できる施設の充実は、大変困難な課題ではありますが、管理する立場の人、利用する立場の人それぞれがそれぞれの立場になって理解し合い、課題解決のために知恵を出し合う場の重要性をあらためて認識しています。
- 斜里町の体育施設の最大の課題である、施設全体の老朽化については、前頁でも記載しているとおり「利用者の安全を第一に考えた適切な対応に努めてもらいたい。」ということです。また、新たな施設を整備する検討を継続しつつ合せて、既存施設の多目的活用や、今後の少子高齢化、人口減少に対応するべく、近隣町と連携した広域的な施設の利用についても考慮すべきと考えます。
- 最後に、町の方針として、「スポーツを核とした健康で明るいまちづくり」に取り組んでいただきたいことを切に願い懇談会のまとめとします。

斜里町体育施設等検討町民懇談会
座長 近藤 将人

IV. 検討経過

1 会議日程及び内容

- 懇談会は、基本的に2カ月に1回、合計8回開催しました。
- 懇談会開催状況は下記のとおりです。

回数	開催日	検討内容	参加団体名 (人数)	委員 出席者
1	平成28年 11月29日(火)	①委嘱状交付 ②役員選出 ③懇談会の目的・会議の進め方 ④町からの課題提起	—	9名
2	平成29年 1月24日(火)	◆検討対象施設 ・海洋センター体育館・プール・ 武道館 ①利用団体からの聞き取り ②アンケート調査結果検証 ③意見交換	①斜里ジュニアバドミ ントンクラブ(2名) ②斜里町水泳連盟・少年 団(2名)	8名
3	4月18日(火)	◆検討対象施設 ・野球場・陸上競技場 ①利用団体からの聞き取り ②アンケート調査結果検証 ③意見交換	①斜里町野球連盟(3名) ②斜里サッカー協会(3 名)	8名
4	6月27日(火)	◆検討対象施設 ・町民公園・シーサイドパークゴ ルフ場・テニスコート ①利用団体からの聞き取り ②アンケート調査結果検証 ③意見交換	①斜里町パークゴルフ 協会(1名) ②斜里テニス協会(3名)	9名
5	8月24日(木)	◆検討対象施設 ・外ロスキー場・外ロパークゴルフ 場・外ロ地域水泳プール ①利用団体からの聞き取り ②アンケート調査結果検証 ③意見交換	①知床スキー場運営委 員会(4名)	6名
6	10月26日(木)	◆検討対象施設 ・スケートリンク・ウナベツスキ ーハウス・学校開放事業 ①利用団体からの聞き取り ②アンケート調査結果検証 ③意見交換	①斜里町スケート協会 (2名)	8名
7	平成30年 1月25日(木)	◆検討内容 ・総合型地域スポーツクラブについて ・提起した課題への対応	—	7名
8	2月22日(木)	◆検討内容 ・検討書まとめ ・委員感想発表	—	10名

IV. 検討経過

2 懇談会委員

- 懇談会委員（10名）の構成は次のとおりです。

[任期：平成28年11月1日～平成30年3月31日]

役職	氏名	所属団体等	区分
座長	近藤 将人	(斜里町野球連盟)	公募
座長代行	大橋 力暢	斜里町体育協会	関係団体推薦
委員	佐藤 健太郎	〃	〃
〃	三浦 賢太郎	斜里町スポーツ少年団本部会	〃
〃	今内 靖晃	斜里町パークゴルフ協会	指定管理者
〃	保村 浩二	斜里町野球連盟	管理委託者
〃	今井 秀治	知床スキー場運営委員会	運営助成団体
〃	松田 功	斜里弓道会	自主管理者
〃	高橋 敏幸	スポーツ推進委員会	識見者
〃	伊藤 真弓	(斜里町バレーボール協会)	公募

事務局：斜里町教育委員会公民館課体育振興係

- ・委員は、町民（識見を有する者・スポーツ施設利用者）、スポーツ関係団体、スポーツ施設管理者からとし、2名を一般公募しました。
- ・公募方法は、「おじろ通信」及び「ホームページ」で行いました。

【参考資料】



平成29年度
町民懇談会
検討資料 №1

斜里町体育施設等の検討について

～ 現状の課題と今後の方向性 ～

体育施設等の検討目的①



・斜里町では、第6次総合計画の基本施策において「健康づくりとスポーツ活動の推進」を掲げ、その中で単位施策として示している、次の3つ →

①「生涯スポーツ推進と交流の実践」

②「指導者の育成と確保」

③「施設設備の整備と維持」を今後の事業展開の重要な方向性と位置付けており、第4次生涯学習推進計画においても同様としています。

・ここでは、学校教育のみならず、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じ、「いつでも・どこでも・楽しく・安全に」スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現をめざしています。

体育施設等の検討目的②



■第6次斜里町総合計画(H26年度～H35年度)

◇基本施策:健康づくりとスポーツ活動の推進

◎単位施策:施設設備の整備と維持

(内容)

→体育協会や各単位協会と連携・協力して体育施設に関する情報収集を行い、老朽化した体育施設の計画的な整備・維持に努めます。また、「安心・快適」な施設を目指すとともに、空き地や既存施設等の有効活用とトレーニング機器等の必要な設備の更新を行い、体育施設サービスの質と機能の向上を図ります。

▶ 3

体育施設等の検討目的③



☆体育施設の充実は重要な課題であり、これからの町民のスポーツ振興・健康維持及び、限られた施設の有効な活用に関し、現在の利用状況や、施設・設備状況のほか、維持経費等を踏まえた、今後の『あるべき姿』について、検討する時期にきています。

▶ 4

町計画での位置付け



第6次斜里町総合計画(H26年度～35年度)

第4次斜里町生涯学習推進計画 (H26年度～30年度)

★単位施策:施設設備の整備と維持

- 【推進項目】
- ① 施設整備とバリアフリー化
 - ② 計画的な設備更新と整備・維持の推進
 - ③ 施設敷地を含めた既存施設の有効活用の推進

斜里町スポーツ推進計画 (H26年度～30年度)

【目的】国のスポーツ基本計画(H24年度～28年度)の趣旨に基づき、全ての町民がスポーツに対する理解と価値を共有し、生涯スポーツ社会を実現するために、その方針と施策を明らかにし総合的かつ計画的に推進することを目的としている。

第IV章 スポーツ振興の基本施策 3. 施設設備の整備と維持

- ① 施設状況に応じたバリアフリー化などの整備を計画的に進めます。
- ② 利用者の安全確保のため老朽化の著しい施設の利用中止や廃止を計画的に進めます。
- ③ 海洋センター体育館周辺敷地の有効活用の可能性を検討します。

▶ 5

斜里町公共施設等総合管理計画での体育施設



町が保有する公共施設等の今後のあり方と、施設配置を検討し、町民が必要とするサービスを効率的・持続的に提供するため、公共施設の最適化を図るものとして、町は平成28年3月に『斜里町公共施設等管理計画(～H52年度)』を策定しました。その中で運動施設全体の方向性が示されていますので、下記にまとめてみました。

◆施設全体の方向性 → 運動施設は、概ね現状どおり活用しながら、経年劣化に応じ、適切な維持管理と修繕・改修を行う。

◆施設別の方針

● 海洋センタープールは、ビニールシートから固定屋根方式への改修検討。

● 赤木体育館は、老朽化のため3年以内に廃止する。

● ウトロスキー場は、15年以内に廃止または他用途転用を検討する。

● 海洋センター体育館とプールを共同利用管理できる施設に改修検討。

● 武道館は、大規模改修時に使用料(暖房費など)の増額を検討する。

▶ 6

体育施設の現状①【施設概要 H28年現在】◆表1◆



No.	施設名	開館年	経過年	開館期間	管理形態
1	海洋センター 体育館	S 57	34	通年	直営
2	海洋センター プール	S 57	34	5月～10月	直営
3	武道館	H 9	19	通年	直営(利用者自主管理)
4	ウトロ地域水泳プール	H 5	23	6月～9月	直営
5	ウトロパークゴルフ場	H 15	13	5月～11月	ウトロPG運営委員会(助成)
6	ウトロスキー場	S 44	47	12月～3月	知床スキー場運営委員会(助成)
7	野球場	S 45	46	5月～10月	委託(斜里町野球連盟)
8	陸上競技場	S 43	48	5月～10月	直営
9	テニスコート	S 56	35	5月～11月	直営
10	町民公園パークゴルフ場	H 9	19	5月～10月	指定管理(斜里町PG協会)
11	シーサイドパークゴルフ場	H 9	19	5月～11月	
12	スケートリンク	S 26	65	12月～3月	直営
13	ウナベツスキーハウス	H 7	21	12月～3月	委託(知床斜里町観光協会)
14	学校開放体育館	H 18		通年	直営

▶ 7

体育施設の現状②【利用人数 H28年度】◆表2◆



No.	施設名	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
1	海洋センター 体育館	12,343	15,022	14,972	16,024	17,744
2	海洋センター プール	2,562	9,742	9,636	8,277	8,420
3	武道館	10,648	9,295	9,824	9,268	8,809
4	ウトロ地域水泳プール	1,312	1,647	1,018	1,027	1,217
5	ウトロパークゴルフ場	—	—	2,065	1,830	1,850
6	ウトロスキー場	1,621	1,702	1,716	1,957	1,959
7	野球場	3,477	3,298	3,011	2,869	1,965
8	陸上競技場	1,855	1,950	2,016	1,808	1,939
9	テニスコート	496	903	1,081	2,449	1,314
10	町民公園パークゴルフ場	16,904	16,045	15,900	18,149	14,551
11	シーサイドパークゴルフ場					
12	スケートリンク	4,757	4,778	3,514	4,395	4,937
13	ウナベツスキー場(リフト)	77,868	76,186	64,353	61,140	54,893
14	学校開放体育館	10,464	10,903	9,084	10,873	12,414
合計(人)		144,307	151,471	138,190	140,066	132,012

体育施設の現状③【年間経費 H28年度決算】◆表3◆



No.	施設名	年間経費 (千円)					年間収入 (千円)	町負担額 (千円)
		賃金等	人×力月	委託料助成金	光熱水費	修繕他		
1	海洋センター体育館	0	—	2,379	2,436	848	479	5,184
2	海洋センタープール	4,507	4×7	335	1,960	6,518	(体育館に含む)	13,320
3	武道館	0	—	48	1,644	2,752	93	4,351
4	ウトロ地域水泳プール	2,221	3×5	495	1,724	4,470	36	8,874
5	ウトロPG場	0	—	320	39	95	0	454
6	ウトロスキー場	0	—	1,073	634	1,695	0	3,402
7	野球場	0	—	410	118	1,084	166	1,446
8	陸上競技場	0	—	0	6	61	1	66
9	テニスコート	0	—	0	0	428	37	391
10	町民公園PG場	0	—	1,293	20	1,153	48 (指定管理)	2,418
11	シーサイドPG場							
12	スケートリンク	2,030	4×4	1,258	1,094	139	0	4,521
13	ウナベツスキーハウス	0	—	1,063	352	1,441	0	2,856
14	学校開放体育館	0	—	962	0	80	134	908
合計		8,758		9,636	10,027	20,764	994	48,191

体育施設等の課題



① 経年劣化による施設の老朽化が著しい

- ・施設全体(スケートリンク除く)の経年数平均が30年であり、毎年多額の修繕費用がかかっている。また、そのため計画通りに修繕が進まない。
- ・修繕が滞れば、利用者の事故に繋がる危険性がある。
- ・利用者のボランティア活動による施設維持の負担が大きくなっている。

② 生涯スポーツ活動・健康増進のコア施設が整備されていない

- ・町民要望の強い総合体育館、トレーニングセンター、全天候型多目的施設等が未整備。
- ・中学校体育館では、クラブ活動が優先され、大会の開催や合宿誘致につながらない。

③ 管理形態及び委託団体が多様である

- ・管理形態の違いにより施設の運営に違いが生じている。
- ・委託先ごとに連絡調整が必要となるため管理が煩雑であり、利用者にもわかりづらい。

④ 施設管理業務にかかる時間と労力の増加

- ・上記の課題が山積し、担当係の施設管理業務対応が年々増加しており、生涯スポーツ推進のための講座や教室等のソフト事業推進に影響が出ている。

体育施設等の課題解決に向けて



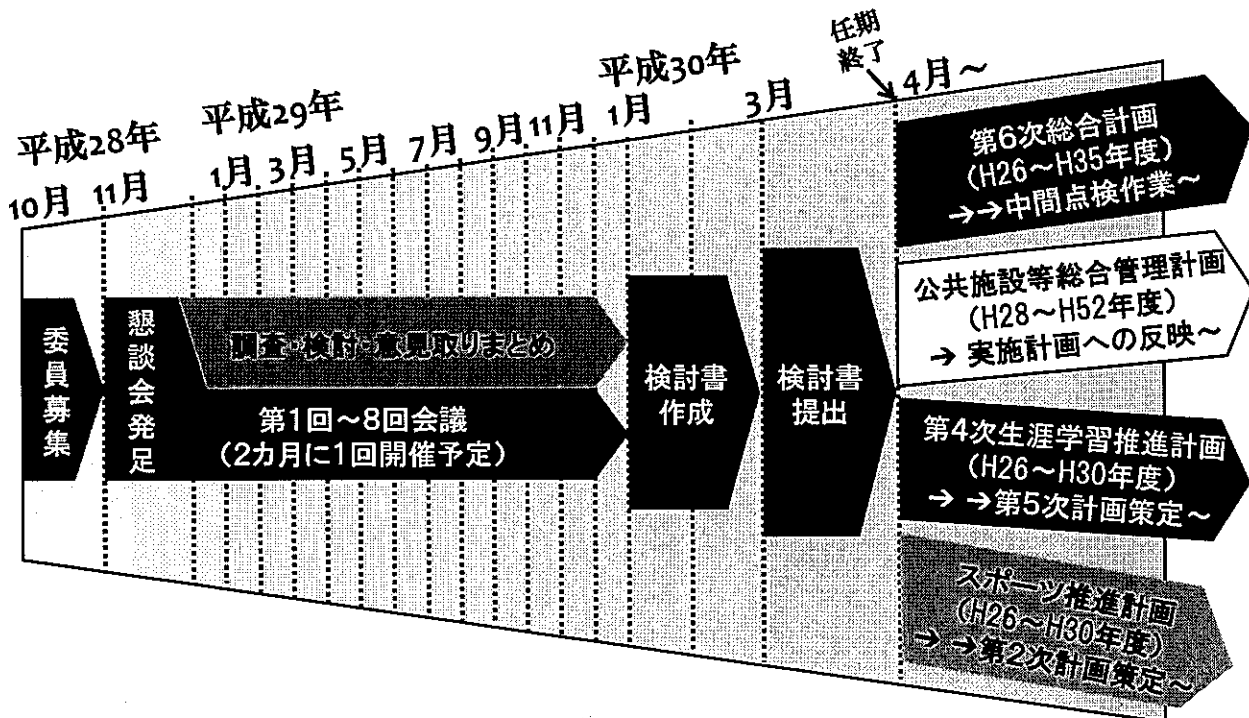
◎斜里町の体育施設の課題解決や今後のあるべき姿について、町民・関係団体・管理者・行政が一体となり中長期的視点に立って検討するため、『斜里町体育施設等検討町民懇談会』を組織する。

☆ 懇談会委員構成(案) ☆

- ・町民
 - ・ 識見を有する者(指名)
 - ・ 個人利用者(公募)
- ・関係団体代表者
 - ・ 斜里町体育協会(推薦)
 - ・ 斜里町少年団本部(推薦)
- ・管理者、行政
 - ・ パークゴルフ協会(指定管理)
 - ・ 野球連盟(管理委託)
 - ・ 知床ｽﾏｰﾌﾞ場運営委員会
 - ・ 教育委員会体育振興係



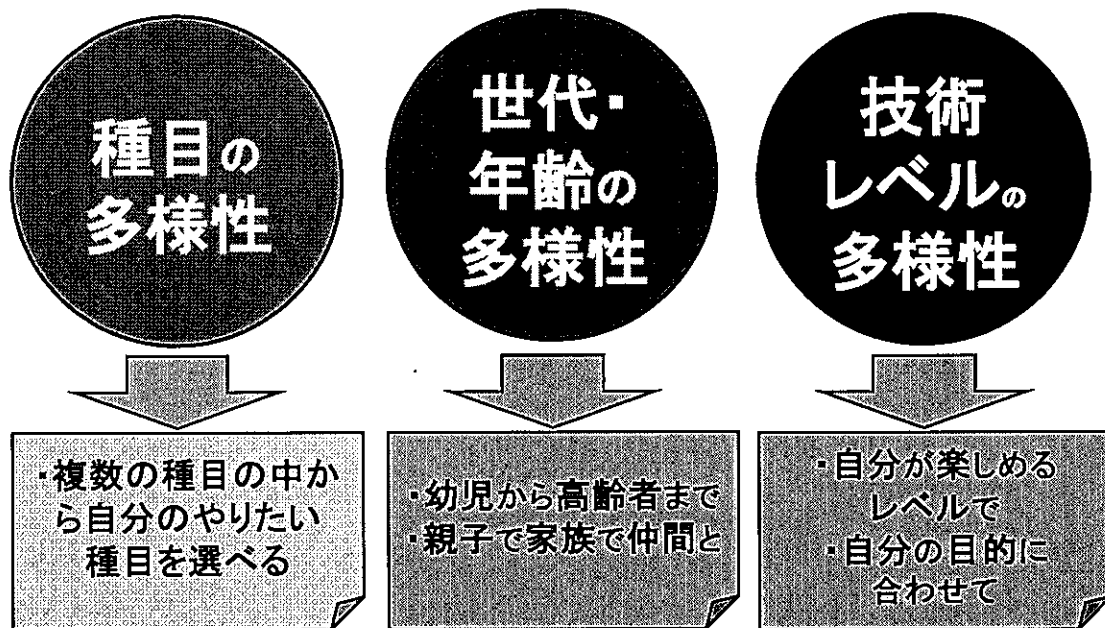
検討懇談会 ロードマップ



総合型地域スポーツクラブって何？②



『総合型』とは、3つの多様性を含んでいること。



▶ 15

なぜ総合型地域スポーツクラブなの？①



・国内では、これまでの経済中心型の社会から成熟した市民社会への転換を図るため、従来からの行政主導型システムを見直す動きが活発になっています。このことはスポーツにおいても例外ではありません。学校、スポーツ団体、企業、行政に多くを依存してきたシステムを、住民一人一人がスポーツ文化をそれぞれの地域の中でどのように育て、日常生活の中に定着させていくかを支援するためのシステムに転換していくことが求められています。このことは、個々人においてみた場合、今後、増大することが予想される自由時間やゆとりを国民一人一人が主体的に活用し、文化としてのスポーツに理解を深め、それぞれのライフステージにおいて継続的にスポーツに親しむ主体性の確立が求められていると言えます。 ➡

▶ 16

なぜ総合型地域スポーツクラブなの？②



➡ こうした意味で総合型地域スポーツクラブの育成は、地域におけるスポーツ行政、スポーツ団体などの在り方を含め、これからの地域スポーツの振興の仕組みの改革であると言えます。

このような背景の中で、平成12年9月、文部科学省は「スポーツ振興基本計画」を策定しました。

◎この基本計画では、生涯スポーツに関する政策目標として、

1. 生涯スポーツ社会の実現
2. その目標として、「成人の週1回以上のスポーツ実施率が2人に1人になることを目指す」ことが掲げられています。



なぜ総合型地域スポーツクラブなの？③



➡ そして、これを実現するための具体的な施策展開として、計画期間の平成22年までの10年間に全国の各市区町村において少なくとも一つは総合型地域スポーツクラブを育成すること、さらに総合型地域スポーツクラブの運営や活動を支援する広域スポーツセンターを各都道府県において少なくとも一つは育成することとしています。

※このように基本計画では、地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの育成が生涯スポーツ社会を実現する上での最重要施策であるとされています。

総合型地域スポーツクラブのメリットは？①



総合型地域スポーツクラブの目指すものは、従来のチームづくりのためのクラブではなく、豊かなスポーツライフ創造のためのクラブ、地域のコミュニティの核としてのクラブです。その機能には競技力向上のためのスポーツ活動はもちろん、交流志向などの多彩なものが含まれます。

したがって、総合型地域スポーツクラブの育成は、スポーツ振興のみならず、社会環境が変化する中で、地域における住民意識や連帯感の高揚、世代間の交流、高齢社会への対応、地域住民の健康・体力の保持増進、地域の教育力の回復、学校運動部活動と地域との連携など、21世紀における新たな地域社会の形成にも寄与することが期待できます。

総合型地域スポーツクラブのメリットは？②



総合型地域スポーツクラブを育成していく最大のメリットは、誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現ですが、以下のような社会的なメリットも期待できます。

● スポーツ文化の醸成(スポーツが生活の一部に、スポーツ実施率の向上)

● 青少年の健全育成

● 地域教育力の回復

● 地域のコミュニティの形成→地域の活性化

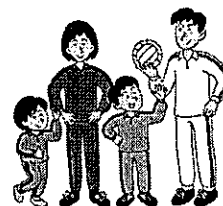
● 親子や家族の交流

● 世代間交流の促進

● スポーツ施設の有効活用

● 地域の健康水準の改善→医療費の軽減

● 高齢者の生きがいづくり



総合型地域スポーツクラブ設立のきっかけ①



現在、文部科学省をはじめ、都道府県やスポーツ団体が地域のスポーツクラブを育成する事業に取り組んでいますが、地域の住民の皆さんによる自発的な取組により育ったクラブや企業チームを母体に誕生したクラブなど、新しいタイプの地域のスポーツクラブも育ってきています。

以下にいくつかの例を示します。クラブ設立のきっかけや、経緯も地域によって様々です。

地域の実情に合わせて、既存の枠にとらわれず、自由な発想からスタートしてみることも大切です。

総合型地域スポーツクラブ設立のきっかけ②



スポーツイベントの成功を契機として、参画した住民が中心となり生まれたクラブ

既存の地域スポーツクラブの種目を核として、多様目型に発展したクラブ

学校の運動部活動と地域との連携から生まれたクラブ

スポーツ少年団が核となり生まれたクラブ

公共スポーツ施設の有効活用を図る観点からスタートしたクラブ

地域のスポーツ教室参加者が集まって生まれたクラブ

既存の地域スポーツ振興組織の見直しや再構築を目指してスタートしたクラブ

地域の青少年健全育成や福祉の問題を検討する中から生まれたクラブ

管内の総合型地域スポーツクラブ育成状況



	市町名	人口(H27国調)	クラブ名	創設年
1	北見市	120,652人	北見総合型スポーツクラブ (H28.3廃止)	H16
			北見市南地区みんなで運動しよう会	H9
			一般社団法人 ジェイスポーツプロモーション	H26
2	網走市	38,966人	NPO法人オホーツクススポーツクラブ	H15
3	紋別市	23,080人	上渚滑スポーツクラブ	H22
4	美幌町	20,300人	びほろスポーツクラブBeet	H22.3.29
5	津別町	5,008人	総合型クラブ「かるっちゃつべつ」	H26.3.18
6	小清水町	5,086人	わんぱくスポーツ塾 (クラブ実態なし)	
7	訓子府町	5,101人	訓子府総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会	H25断念
8	遠軽町	20,864人	遠軽町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会	創設準備中
9	興部町	3,908人	ルゴーサ興部	H21.10.30
10	大空町	7,339人	豊住スポーツクラブ	H22

▶ 23

(H29.3現在クラブがある市町村数8÷市町村数18＝クラブ育成率44.4%)

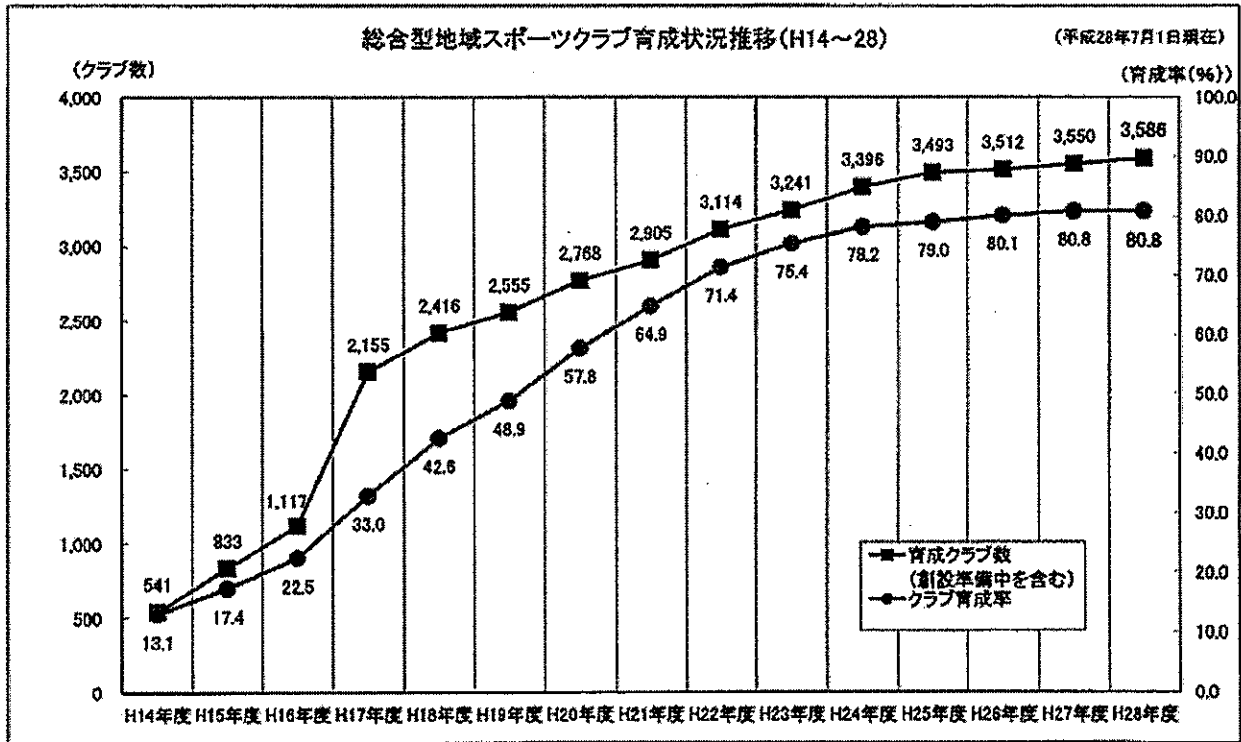
総合型地域スポーツクラブの全国的な現状と課題



- ① 平成28年7月現在の総合型クラブ数は、全国で3,586クラブ。
- ② 同じく、全市区町村の育成率は、80.8%。会員数は、約130万人以上。
 <参考> 北海道内のクラブがある市町村数105÷市町村数179＝58.7%
 ●市の場合 30÷市数35＝85.7% ●町村の場合 75÷町村数144＝52.1%
- ③ 自己財源率が50%以下のクラブが43.5%、PDCA(計画-実行-評価-改善)サイクルが定着していないクラブの割合は62.1%(H27現在)。
- ④ 行政と連携して地域の課題解決に取り組んでいる総合型クラブの割合は18.4%(H27現在)。総合型クラブの認知度は31.4%(H24調査)であり、総合型クラブが地域から求められる役割を果たし地域に定着していくことが課題。
- ⑤ 創設されるクラブ数の減少に伴い、支援の中心が総合型クラブの自立的な運営の促進に向けた支援に移行してきている状況も踏まえ、各支援主体の役割分担を明確化して支援体制の再構築等を図ることが課題となっている。

<第2期スポーツ基本計画抜粋>

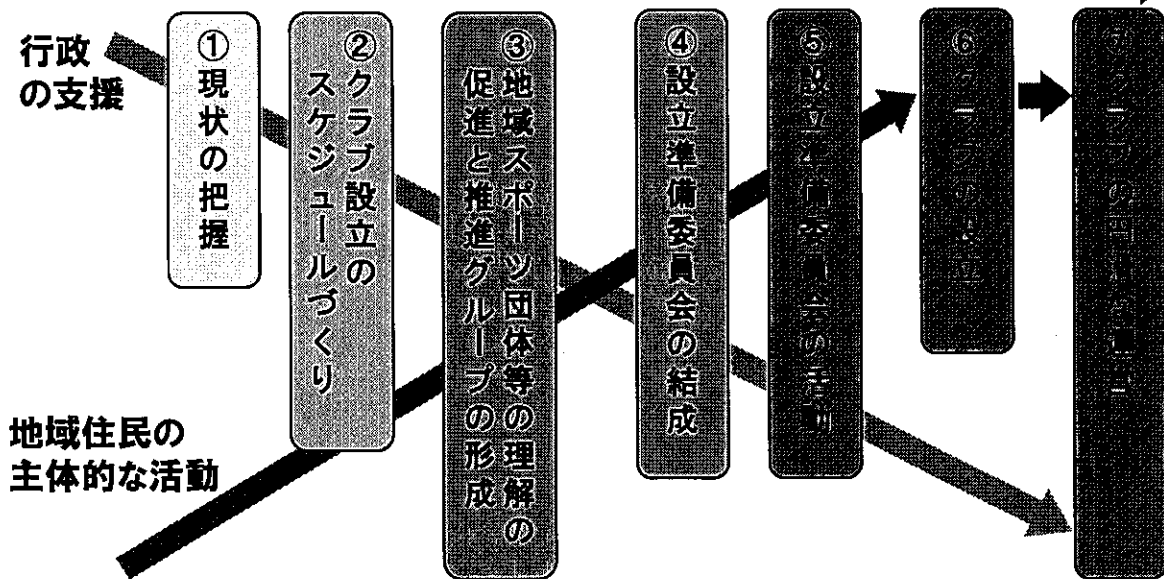
▶ 24



地域住民が主体となって創るスポーツクラブ！



☆クラブ設立までの行程



◎地域住民が「運営組織」を結成し活動する。
 【課題】設立準備委員会の段階で、いかに「住民主導」の運営に切替わるか。

視察報告①

【視察日:平成26年12月12日】



NPO法人羅臼スポーツクラブ らいず

・設立月日 平成24年4月10日
・現会員数 204人

◆設立目的

町民が、いきいきと活動できる場を作り、多世代間交流・心と体の健康、高齢者の生きがい、青少年の健全育成、まちづくりに向けた意識の高揚と責任感の醸成をめざす。

◆特徴

小学1・2年生の低学年は、少年団活動をスポーツクラブで過ごし、遊びながら運動能力の基礎を養い、3年生から少年団活動に参加する仕組みとしている。

◆クラブ設立のキーパーソン

設立準備委員会・運営委員会の議論を経て、元教師に打診した。現クラブマネージャー(女性)である。

◆会費

・ジュニア(幼児～中学生) 900円
・アダルト(高校生以上) 2,400円
・シルバー(65歳以上) 1,700円
・ファミリー 4,500円

◆設立効果と課題 ・会員に障がいを持つ子もいるが、自発的に運動するなどの変化が見られるようになった。また、このことで特別支援学級とも連携できるようになった。
・実質の活動は、平成18年度からであり8年が経っているため、町民に対して再周知が必要な時期となっている。
・会費収入だけでは運営できない。町からの指定管理料などがないと財源確保が難しい。

▶ 27

視察報告②-1

【視察日:平成27年11月4日】



訓子府総合型地域スポーツクラブ 設立準備委員会

・平成25年度設立断念

・経緯

◇クラブ設立の機運

・少子高齢化が進み、体育協会やスポーツ少年団の会員数・団員数が減少し、このままでは確実にスポーツ人口が減少することへの危惧。他方で、既存のスポーツ団体にとられず、健康増進を目的とする運動サークルが誕生しているなど、住民ニーズの多様化が進んでいたことから、今後、幼児から高齢者まで多世代のスポーツニーズに対応したスポーツ活動組織が必要になると考え、総合型地域スポーツクラブの設立を検討する機運が高まり、設立準備委員会を立ち上げることになった。

◇設立準備委員会の設置に向けた活動

・平成22年11月～(年度内) 訓子府町スポーツ推進委員・訓子府町体育協会幹部・訓子府町スポーツ少年団本部との話し合いの結果、賛同を得た。
・平成23年5月10日 設立準備委員会設置

◇設立準備委員会の活動(H23年度～24年度)

・委員会会議、運営委員会会議、先進地クラブ視察、町民アンケート調査、講演会・研修会、スポーツ教室等を実施。※日本スポーツ振興センター(toto)の助成金を活用。

▶ 28



訓子府総合型地域スポーツクラブ 設立準備委員会

・平成25年度設立断念

◇設立準備委員会の活動(H25年度)

- ・当初、H24年度中のクラブ設立をめざし、関係機関との話し合いと積極的なスポーツ教室の開催などを行ってきたが、町民にクラブ設立の必要性が十分に理解されていないとし、この時期でのクラブ設立はしないと判断した。
- ・H25年度は、「クラブ事業活用に住民の理解が得られるかどうか」「会費収入のみで運営できるかどうか」「会員の確保ができるかどうか」を検証することになった。

◇設立準備委員会でのクラブ設置に関する結論

- ・クラブ運営収支、会員の確保、役員組織、事務体制など様々な課題や問題点があり、この解決は難しいと判断し、設立準備委員全員一致でスポーツクラブを設立しないこととした。
- ・(まとめ)⇒訓子府町のスポーツ活動の指導者は、地域住民のボランティアに頼っていることから、指導料を支払ってまで、スポーツ活動をするということに、住民の合意を得ることが困難である。しかし、今後の社会情勢の変化により、町のスポーツ活動が今までのようにボランティアに頼ることができない時代になれば、住民が自らがスポーツ活動を企画して運営することに期待するものであり、その時こそ、総合型スポーツクラブの設立を検討するべきと考える。



訓子府総合型地域スポーツクラブ 設立準備委員会

・平成25年度設立断念

●訓子府町が整理した総合型スポーツクラブ運営に関する3つの課題

- ①指導員・クラブマネジャーの育成について
→スポーツ運営に精通したマネジメント能力を持つ「クラブマネジャー」の存在は重要であるが、人材の確保が難しい。
- ②会員構成・組織について
→訓子府町は、全町型のスポーツクラブをめざしているが、活動する会員をどのように集めるか、また、運営していくための組織構成はどうか課題である。これまで、少年団単位団体・スポーツサークル団体には何度か協議したが、具体的な話は進んでいない。
- ③活動資金の確保について
→スタッフの人件費などの資金面が重荷になる。受益者負担が原則とはいえ、会費や参加料では賄いきれない部分があり、助成金やボランティアに頼らなければ運営が厳しくなる。日本スポーツ振興センターの助成金(toto)もスタートから5年間だけであり、その後、運営が立ち行かなくなる可能性がある。教育委員会としては、収支がマイナスになった部分について、単なる補てんということでの補助金を交付する考えはないので、将来の財源をどのように確保するのかが、スポーツクラブ設立の最重要課題と考えている。

体育施設に関するアンケート調査結果一覧表

No.	区分	団体名	配布日	回収日	満足度	主な理由	体育施設全般について
1	B & G 体育館	パンチングテニス同好会	12/16	12/21	B	暖かい所で運動させてもらっている・職員があいさつしてくれる・掃除がきれい	皆で毎日気持ち良く使わせて頂いています。ありがとうございます。これからもよろしく。
2		ピンポンクラブ	12/8	12/8	B	希望する時間帯に利用できる。	雨漏りが数カ所ありスリップ事故が心配・冬期間まぶしいので、カーテンがあれば良い。南側上部だけでも・体育館内での水分補給はどうしてダメなのか？・卓球台にキズがあり、イレギュラーすることがよくある・卓球台が組立式なので折りたたむ時に3人が怪我した。
3		ママさんピンポンクラブ	12/8	12/8	B	空いているので自由に使える。職員の対応が良い	特になし
4		卓球少年団	12/11	1/11	B	冬期の館内の温度が低いことがある、15℃程度の環境を保ってほしい	特になし
5		斜里ジュニアバドミントンクラブ(※)	12/8	12/28	D	館全体が狭いため、荷物(ラケット・バッグ等)を置くくと足が引っ掛かり危険	体育館を建て直して頂きたいのとギャラリーを作って頂きたいというのが要望だが、予算等の問題で改善することは難しいというのは承知している。しかし、斜里町の各スポーツ少年団が大会で成績を残すためには、能力はもちろん環境も良くすることが成績に繋がるものと考えている。斜里町のスポーツ少年団を盛り上げていくためにも少しでも改善して頂けたら嬉しい。
6		バドミントン友の会	12/9	12/29	C	館内が手狭。暖房がすぐに暖まらない。	特になし
7		知床ランニングクラブ	12/12	12/28	B	概ね良いと思う。バスケットゴールの移動が出来たら良いと思う。	町内で使用できる施設があると良いと思います。50人もいるのできついです。
8		斜里町バレーボール協会(少年団)	9/15	9/26	D	床が抜ける箇所がある。ワックスを定期的にかけてほしい。西日がまぶしくカーテンを武道館側コートにも付けてほしいが、換気が悪いので単純に暗幕を付けてもダメだと思う。	新しい体育館は無理だという前提で(体育館が建った場合でもサブコートとして必要)、海洋センター体育館の床の張替えを検討してください。利用頻度や設置年数を考えても対応が必要だと思います。
9	B & G プール	斜里町水泳連盟(※)	配布済	1/12	D	使用期間が短い。現状は5月～10月末までだが、閉館前の温水プールの4月～11月を希望	中体連・高体連・JOC夏季大会等の主要大会までの練習期間が2カ月弱では全く足りない状況(6月予選会・7月本大会)。必要最低限として3カ月の練習期間の確保を強く望みます。少年団基礎クラスの底辺が育っていても中学・高校と続けていく道筋が見えなければ続けていくことが困難になり、未来の指導者も育っていかないと考えます。水泳は生涯スポーツとして年齢に制限なく取り組める運動ですが未来のためにも、今先行投資を切にお願いします。
10		斜里水泳スポーツ少年団					
11	武道館	柔道会	12/9	—	—	—	—
12		空手	12/7	12/14	A		個人の格闘者が気軽に入出入りできる施設。ウエイト設備の整った施設があると良い。
13		剣道連盟(少年団含む)	12/7	12/7	B	夏場は窓を開けても弓道場が開いていないと風通りが悪く暑い、冬場は暖房を焚いても真ん中の天井が高いため、暖まるのに時間がかかる	町道から武道館までの砂利道を舗装してもらえるとありがたい(毎年、春と秋に数多くのクレーターが出来、車が傾く事もある)・身体障がい者用トイレのウォッシュレットを直してほしい。
14		弓道会	12/27	12/27	D	雨漏りや暖房器具の不良などの改修が遅い	各施設の収入が少ない。少年団からの使用料が免除?町負担?となっているのか分からないので、詳しく教えてほしい。武道館の収入の9割以上は斜里弓道会からのもの。計画では使用料増加と書いていましたが、実際は弓道会のみが増加対象となります。納得いく収入を上げられるよう検討して欲しい。

体育施設に関するアンケート調査結果一覧表

No.	区分	団体名	配布日	回収日	満足度	主な理由	体育施設全般について
15	野球場	斜里町野球連盟	3/2	3/24	D	内野の土が硬い。外野芝に段差有り。その他別記。	①雨が降るとベンチの中が水浸しになり、使えなくなるので、ベンチ前に排水のU字溝の設置をお願いしたい。 ②外野芝の全面張り替え。それが難しい時は、部分的な張替を行政で整備して頂きたい。 ③内外野のフェンスがコンクリートで大変危険である。危険防止のためラバーを張って頂きたい。 ④危険防止のためにフェンス(網の部分)にラバーが付いていますが、風化して取り替え時期にあるため、取り替えてほしい。 ⑤球場トイレは、現在和式なので洋式に改善して頂きたい。現代はどの家庭でも洋式水洗トイレである。 ⑥使用中のベンチ内椅子が老朽化し、更新時期にきているので、更新して頂きたい。 ⑦内野内に高低差ができてきていること、ベース位置もずれているなどから基礎の正確な位置を測量して頂きたい。
16	陸上競技場	斜里サッカー協会(少年団)	2/26	4/5	C	現在、サッカーシーズンは、7~10日間隔で芝刈りをしているので、ピッチコンディションは問題ない。昨年同様、一部育成不良個所の芝生の張り替え(自主施工)は随時行っていきたい。今後の要望は、ナイター照明施設整備を希望します。	①斜里サッカー協会として、体育館の積立基金を取り崩す際に、前会長へ託したオールシーズン利用できる屋内人工芝コート(多目的)を要望いたしました。現在、その要望に対する対応は、検討・計画をされているか回答をお願いします。 ②スポーツ活動(屋内・屋外競技含む)の拠点整備・体制の再構築が必要だと強く感じている。
17		知床斜里ランニングクラブ	2/24	4/4	C	クロスカントリーコースができる点は良いと思う。あとは、中・高等学校の利用も考え、照明をつけてほしい。土の風化があり、走るたび滑る。	町内体育施設が少なく、ランニングクラブでは40人を超える人数でB&G体育館を利用しているが(半年間)、良い内容の練習が行えているとは思えず、工夫しきれない。試合では、50mのレースなどがあるが、BGで直線を測っても最大20mであったため、試合に向けての練習ができないのが現状。雪の上だと滑るし、道路を走るのには3月下旬(試合があるのは4月中旬)。例えば、廃校になった小学校でも現行の小学校でも良いので、学校開放で廊下を借りることができれば、冬の間でも練習ができるので、お願いしたい。
18		斜里中学校サッカー部	3/1	3/23	A	根切りをしていただいたからか、素晴らしいピッチでした。本当にありがとうございます。ありがとうございました。	特になし
19		斜里中学校陸上部	3/1	3/30	C	芝生がもう少し良いものにして欲しい。硬い。幅跳びの砂を増やしてほしい。	特になし
20	テニスコート	斜里テニス協会	5/31	6/7	D	人工芝の目がだいぶ短くなり、体に衝撃を受けやすくなってきている。水はけがあまり良くない。	・フェンスがだいぶ腐食しており、倒壊の恐れがある。 ・高校の部活でもコートを利用しており、使う頻度が激しくなるとラインが剥がれやすくなる。 ・ところどころにコートの陥没があり、危険である。 ・防風ネットがあまり丈夫なものではなく、すぐ破損しやすい。
21		斜里高等学校テニス部	5/30	6/14	A	コートハウス、トイレ、照明などの設備が整っており、生徒たちがのびのびと部活動に励むことができています。	いつもお世話になっております。今後ともよろしくお願いいたします。
22	PGコース(可)	斜里町パークゴルフ協会	5/31	6/2	B	指定管理制度による施設管理を実施している。	・公園コースとシーサイドコースが離れているため大変不便。連絡路が使いづらい ・当日券が高い。シーズン券(70歳未満)が高い。
23	スキー場	知床スキー場運営委員会	7/20	8/1	C	老朽化の進んだ施設である中、修繕・補修に協力いただいている。	現状、利用者が増加傾向にある中、スキーロッジの老朽化及び手狭さを感じており改善を希望します。また、ロープトウについても、以前使用していた機械が故障し廃棄となり、ウナベツスキー場からの中古品流用で使用しているため利用に不安があります。

体育施設に関するアンケート調査結果一覧表

No.	区分	団体名	配布日	回収日	満足度	主な理由	体育施設全般について
24	ゴルフリンク	ウトロパークゴルフ運営委員会	7/19	7/22	D	①芝をもう少し整備して欲しい(張芝)。 ②運営委員会の会員が高齢者のみで若手がない。 ③利用者のほとんどが高齢者で若者や子どもの利用が少ない。	パークゴルフ場全体を整備して欲しいです。
25	スケートリンク	斜里スケート協会(※)	9/18	10/23	B	一般の利用者が気軽に使用できる休憩室であり、幼児から少年団まで利用されている。二階建て管理棟は、リンクの造成、放送設備も完備され、リンク使用規制や各種大会運営が円滑に行うことができる。	スケート協会と改称されたのが64年前、終戦の精神的なよりどころを求めた時代であり、子どもたちは家業の手伝いをしながら遊びや運動は絶えることがなかった。スピードスケートは最も愛好されていました。今、地球温暖化そして高齢化に伴い小学生が減少し、学級減となり各地域の小学校は統合されました。残念ながら、スピードスケートは斜里中(町営リンク場)において最低限のカリキュラムが冬期間組まれており、生徒が休日や放課後、遊戯の多様化による選択からリンク施設の利用が少なくなっている現状はこれまた残念である。平成23年にスポーツ宣言日本~21世紀におけるスポーツの使命~が発表されました。「現代社会におけるスポーツは暮らしの中の楽しみとして、青少年の教育として人々の交流を促し健康と維持増進するものとして、更には生きがいとして多くの人々に親しまれている」と宣言しており、このような考え方に立ち、どのように進んで行くべきか検討する必要があります。
26	学校開放体育館	斜里町野球連盟	3/2	3/24	C	現在、週2回の利用ですが、3回お願いしたい。	特になし
27		斜里サッカー協会(少年団)	2/26	4/5	D	開放時間が定刻より遅い場合がある。学校開放の子供達への利用拡大を強く要望する。単協当たりの利用日(冬期間)をもう少し増やして頂きたい。	特になし
28		斜里町バレーボール協会(少年団)	9/15	9/26	D	斜里小・朝日小共に床面ワックスを定期的にかけていない。	朝日小のコートとコートを仕切る防球ネットが本来であれば2階のギャラリにあるチェーンを巻くと開閉できるが、故障しているため、現在は手で引いているので、学校側と状況を共有してください。「金がない」「予算が余ったら」と言われると、無理な要望にしかならないので、施設利用者が気づかない様な対応をして欲しいです。例えば、バレーボールリーグを開催しているときの賑わいとか、サッカー、野球、バスケで体育館を使っている状況などを見に来るのも利用者の生の声を聞けて良いと思う。
29		斜里ソフトバレーボール協会	9/15	9/21	B	特に悪い部分はありません。冬に寒いからです。(朝日小体育館)	特になし。良い環境だと思います。
30		斜里町ママさんバレー連盟	9/15	9/29	B	週3回使用できることは有難いが、学校行事により使用できない期間が長い。	すべて、体育館が無いことが原因。自前の体育館が無いことにより、大きな大会の開催もできないし、トレーニング施設も不足して合宿も呼べない。高齢化の時代に合った健康維持のための指導員の設置も必要かと思う。
31		斜里バスケットボール協会	9/15	9/15	B	ゴールが電動、タイマー・得点板が電動。(斜里中体育館)	特になし
32		斜里バドミントン協会	9/15	9/23	B	週3回、快適に利用させて頂いております。ただ、使用しているバドミントンネットが穴だらけだったり、ボールが曲がっていたり、留ネジが無かったり、用具の損傷が激しいので改善されるとうれしいです。	特になし
33	ウトロ学校開放(管理人)	10/11	10/12	A	きれい、照明も明るい。	土曜・日曜・祝日も利用したい。ウトロスキー場のヒュッテが古い、汚い。	
34	その他	【斜里中学校グラウンド】 斜里サッカー協会(少年団)	2/26	4/5	D	グラウンドコンディションが悪すぎる。特に、降雨後の水たまりが長く残るので、早く乾燥するように早急に排水対策をお願いしたい。	特になし

(※)→懇談会参加団体

●満足度：A→非常に良い、B→良い、C→普通、D→悪い、E→非常に悪い